

2008年3月期(2007年度) 第3四半期決算概要

**2008年1月29日
日本電気株式会社**

<将来予想に関する注意>

本資料にはNECおよび連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8) 2006年3月期米国証券取引委員会（SEC）向け年次報告書（様式20-F）を提出することができないことおよびSECに提出した過去の財務諸表の修正再表示が事実上不可能であることによる影響ならびにNECが過去にSECに提出した財務諸表が依拠できないことを公表したことによる影響、(9) SECにより継続されている非公式調査に関する不確実性等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うこととなります。

(注)
当社は連結財務諸表作成に関する会計基準を06年度より「米国基準」から「日本基準」に変更しております。

I .2008年3月期 第3四半期決算概要

第3四半期決算のポイント

- **3Q*営業利益160億円、9カ月累計*434億円**

- NWシステムを中心に4Q偏重あるも

通期目標に向け着実な進捗

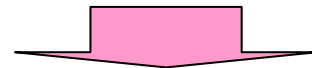
- **課題事業の着実な改善**

- モバイル/パーソナル(3Q 24億円、9カ月 104億円)

半導体(3Q 30億円、9カ月 49億円) ともに黒字を確保

- **NGN事業が順調に拡大**

- NGN構築事業売上高:3Q約500億円、9カ月約1300億円



- **通期営業利益目標1300億円の確実な遂行**

- **来期以降の成長に向けた取り組み強化**

- 全社戦略費用150億円を具体化(IT/NWに50億円追加組替え)

- 海外事業拡大に向けた施策を展開

*3Q:直近3ヶ月(10-12月期)、9カ月累計:4-12月期、4Q:1-3月期

07年度第3四半期実績サマリー

(単位:億円)

	9カ月累計			3Q		
	06年度 実績	07年度 実績	前年同期比 増減	06年度 実績	07年度 実績	前年同期比 増減
売上高	33,177	31,928	- 3.8%	10,961	10,522	- 4.0%
営業利益	425	434	+9	350	160	-190
<i>売上高比</i>	<i>1.3%</i>	<i>1.4%</i>		<i>3.2%</i>	<i>1.5%</i>	
経常利益	111	193	+82	229	95	-134
当期純損益	-73	-100	-27	26	-52	-78
<i>売上高比</i>	<i>-0.2%</i>	<i>-0.3%</i>		<i>0.2%</i>	<i>-0.5%</i>	
1株当り純損益(円)	-3.73	-5.05	▲ 1.32	1.21	-2.62	-3.83

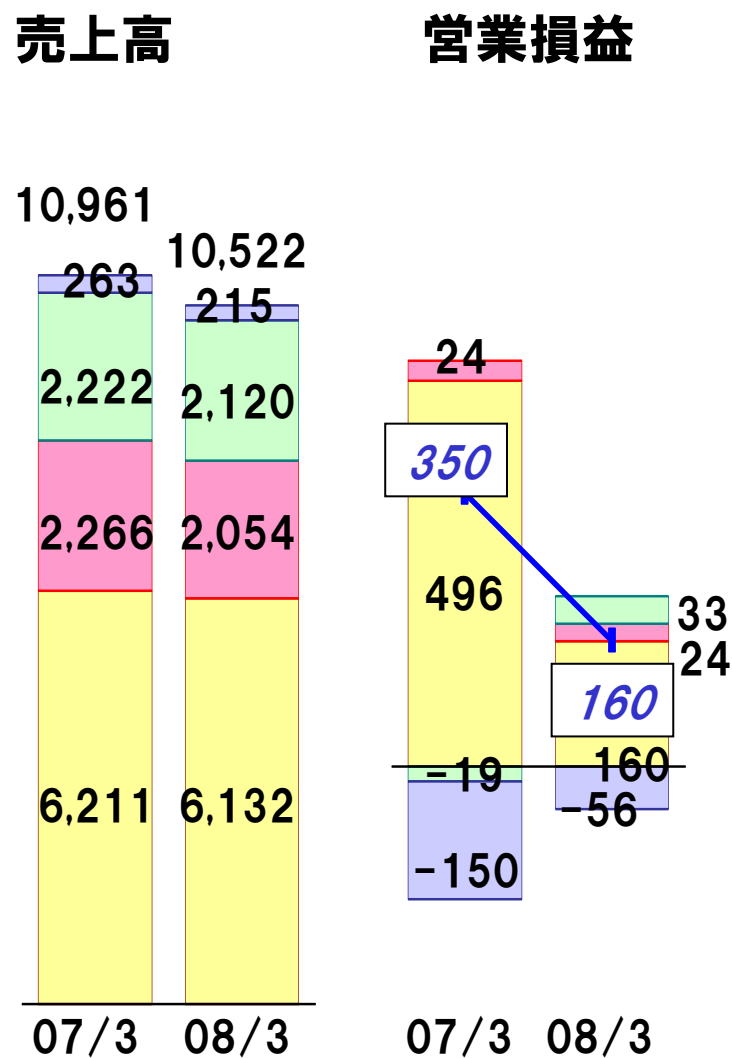
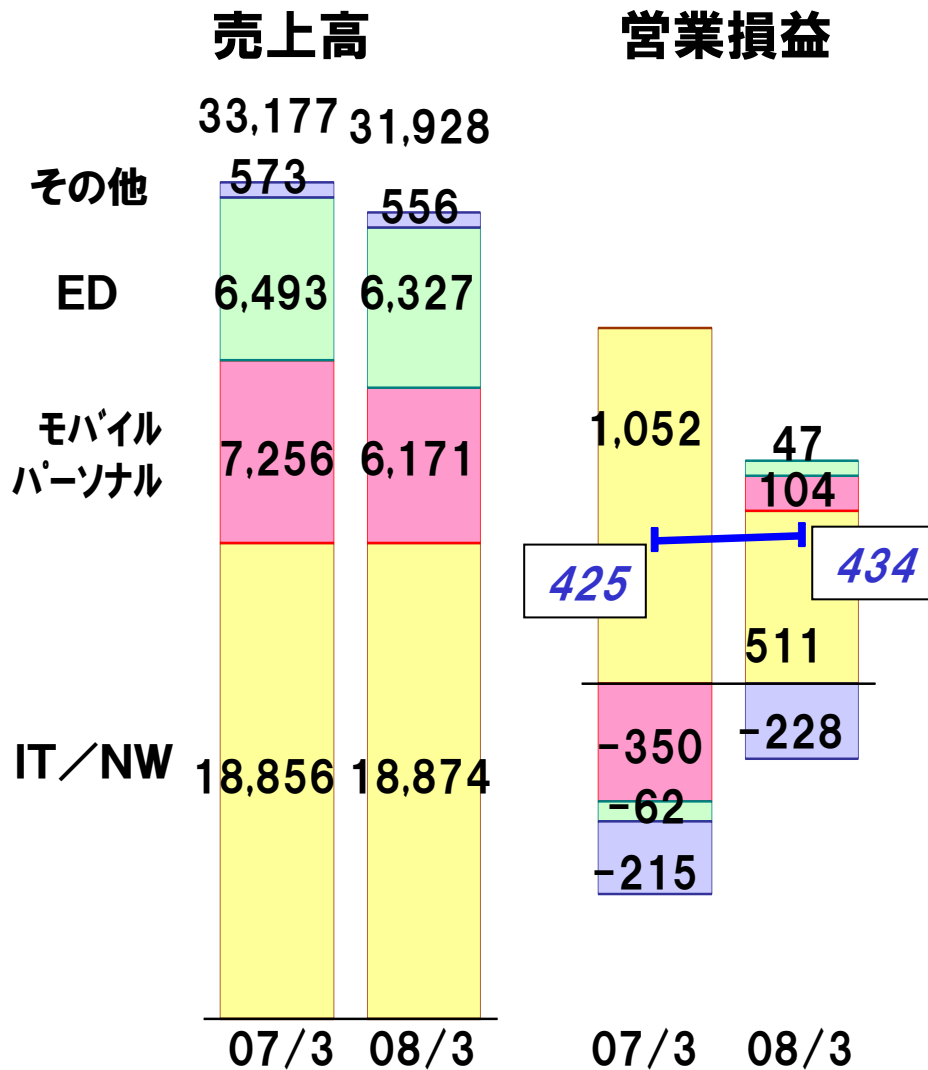
*9カ月累計:4-12月期、3Q:直近3ヶ月(10-12月期)

II.セグメント別事業の状況

07/3期 第3四半期 セグメント別実績

<9カ月累計実績>

<3Q実績>

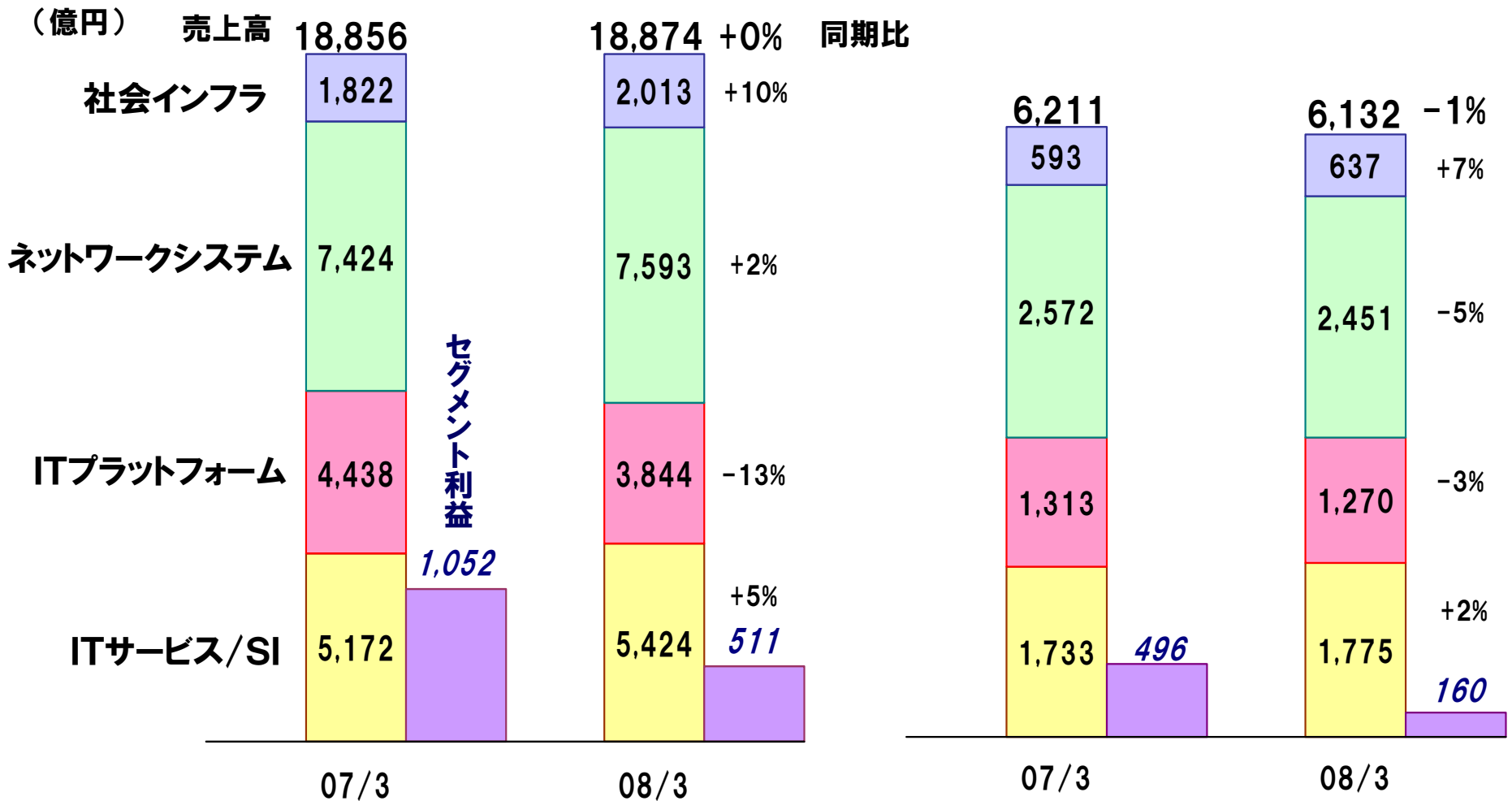


*9カ月累計:4-12月期、3Q:直近3ヶ月(10-12月期)

① IT/NWソリューション事業

<9カ月累計>

<3 Q>



*9カ月累計: 4-12月期、3Q: 直近3ヶ月(10-12月期)

3Q (10-12月期) 売上高・営業利益および事業の状況

[①IT/NWソリューション事業]

■ ITサービス/SI

◇通信、金融を中心に着実な伸長

製造業向けはSAPソリューションを強化

■ ITプラットフォーム

◇DVD販売機能移管により

売上高前年同期比減少も、下期計画に向けて着実な進捗



iStorage E1

■ ネットワークシステム

◇ 移動通信システム:MNP投資一巡で

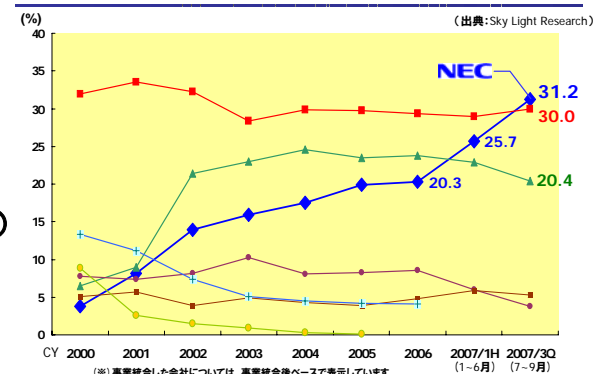
前年同期比減少、下期出荷は4Q偏重

◇ パンリンク:アジア、中近東向けなど売上を拡大

世界トップシェア獲得(07/7-9月、Sky Light Research社調べ)

◎ NTTドコモ スーパー3G基地局商用ベンダに選定

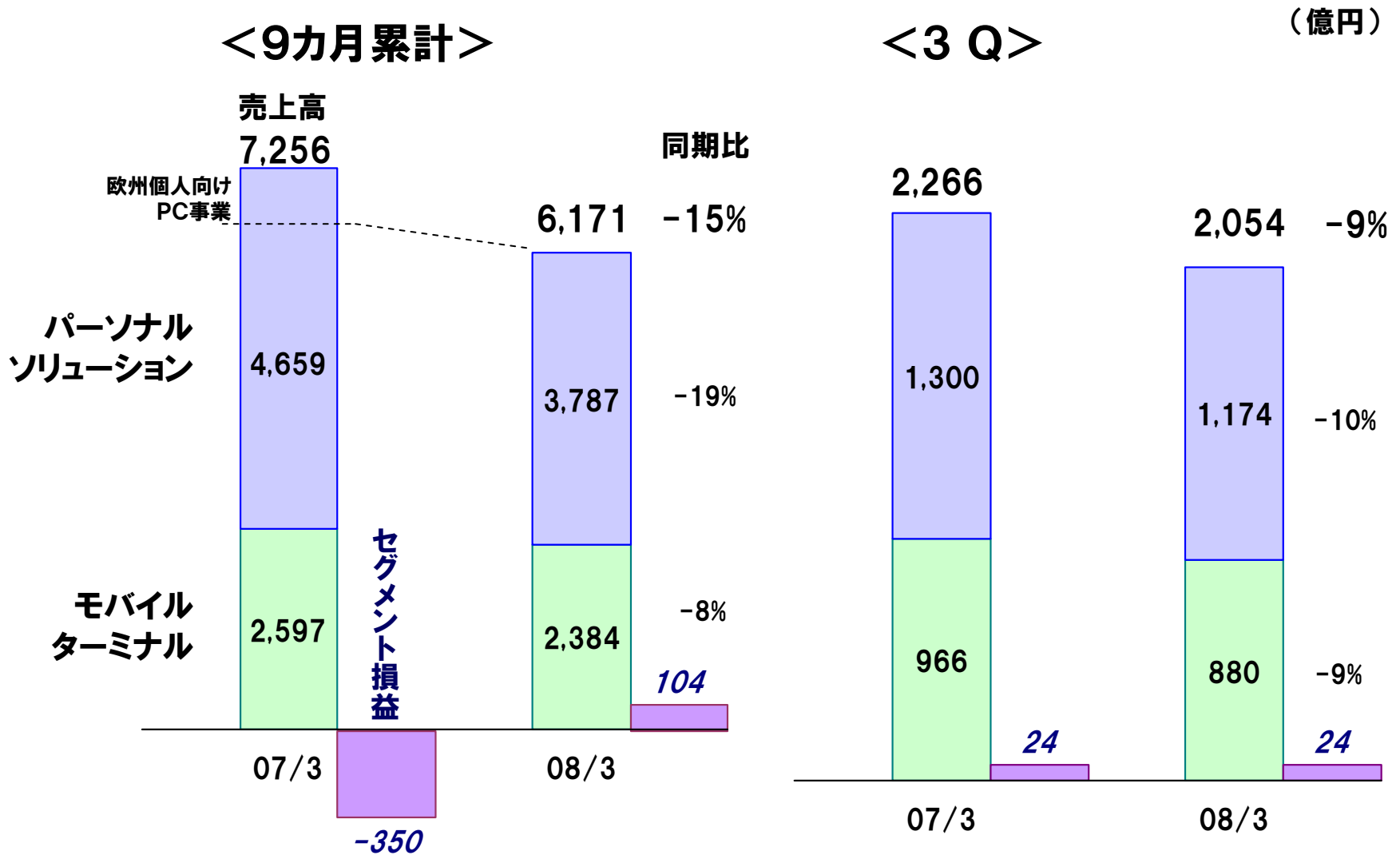
パンリンク 台数シェア推移



U can change.

© NEC Corporation 2008 14

② モバイル/パーソナルソリューション事業



*9カ月累計: 4-12月期、3Q:直近3ヶ月(10-12月期)

3Q (10-12月期) 売上高・営業利益および事業の状況

[②モバイル/パーソナルソリューション事業]

■ モバイルターミナル

- ◇ 出荷台数110万台
新製品(N905シリーズ)は好評
営業利益は黒字を確保
→シェア回復へ向け、
魅力ある新製品の投入を継続

ハイスペックの
「amadana」ケータイ
N705i (2/1発売)



世界最薄9.8mmの
Extreme Slimケータイ
N705i μ

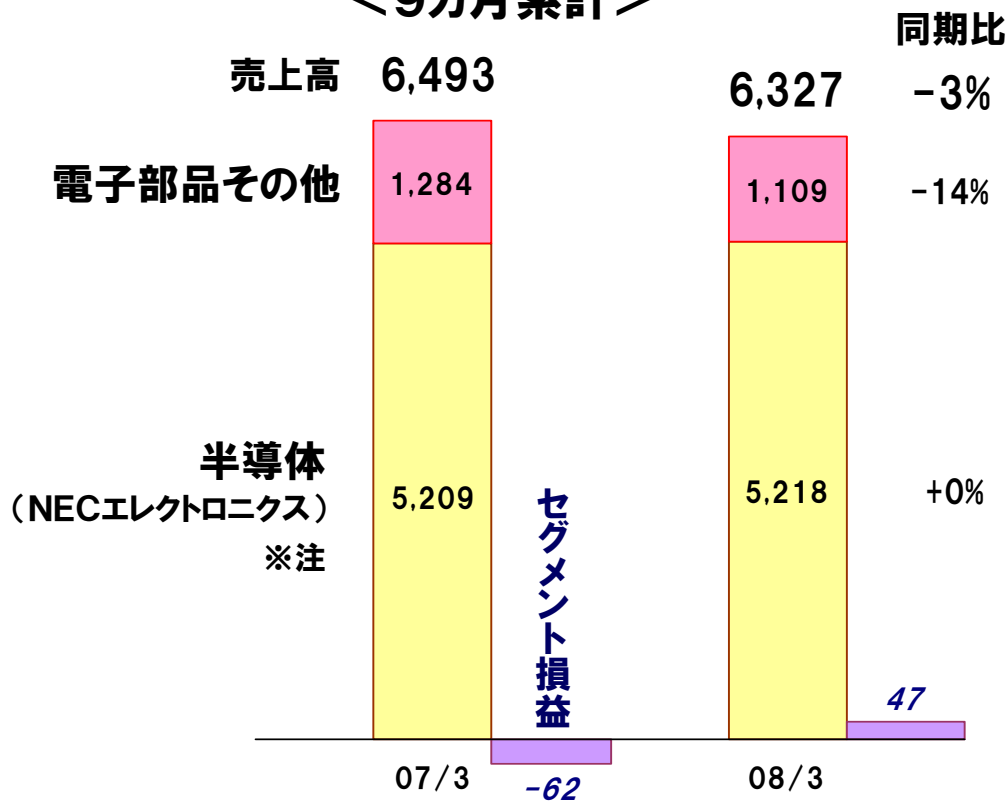
■ パーソナルソリューション

- ◇ 国内PCはトップシェアを堅持し、
採算線を確保
→ ホームサーバ・クライアントソリューションを実現する新ブランド「Lui」発表
NGN時代に向け、PCによる新たなデジタルライフを提案

③ エレクトロデバイス事業

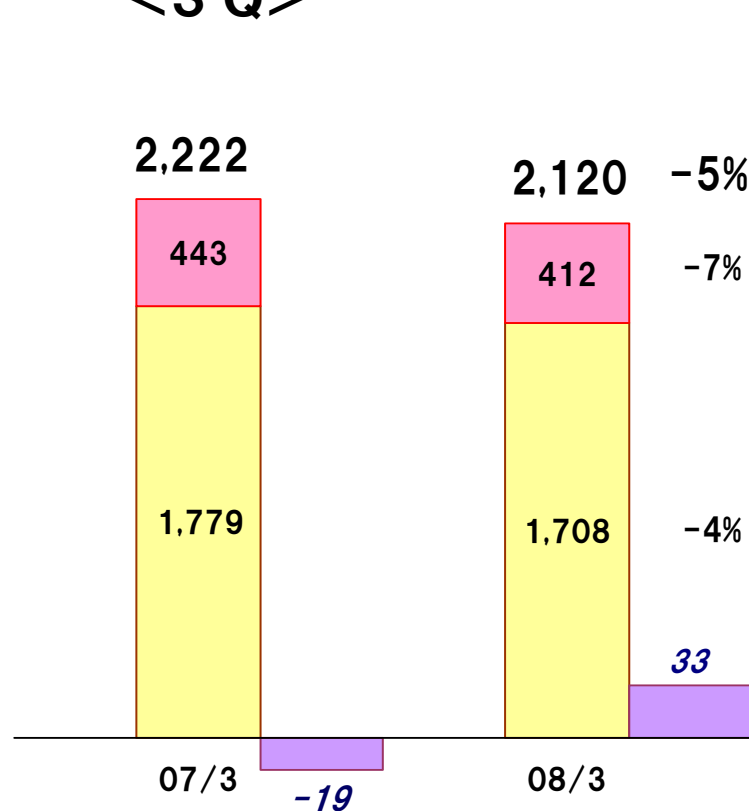
(億円)

<9カ月累計>



(億円)	07/3	08/3
	9カ月累計	9カ月累計
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-107	49

<3 Q>



(億円)	07/3	08/3
	3Q	3Q
半導体営業損益 (NECエレクトロニクス)	-38	30

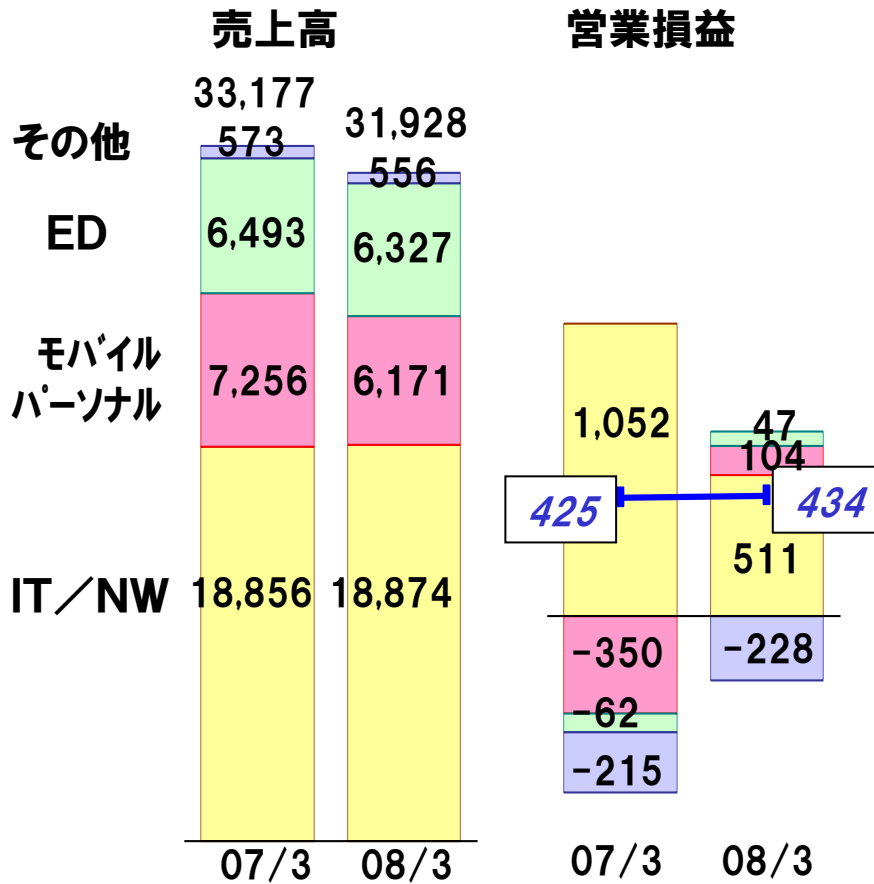
※注 半導体分野の業績は、NECエレクトロニクス(株)が米国会計基準に準拠した財務諸表を公表しているため、NECエレクトロニクスの公表値(米国会計基準)で表記しています。日本会計基準への修正による差異は、電子部品その他分野に含まれています。

*9カ月累計:4-12月期、3Q:直近3ヶ月(10-12月期)

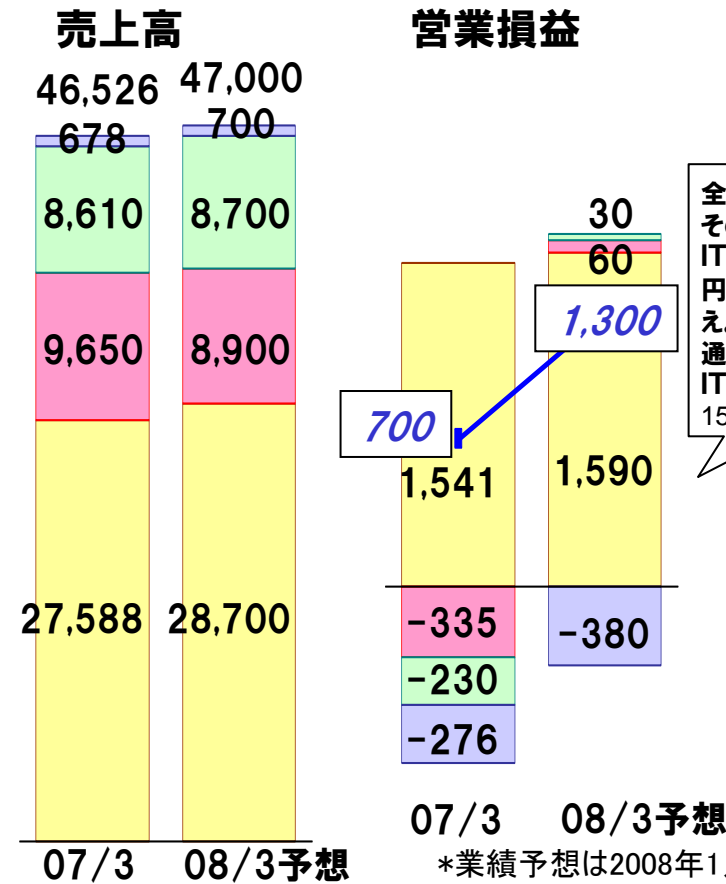
通期目標達成に向けて

受注の着実な積み上がりで通期営業利益1300億円達成を目指す。

<9カ月累計実績>



<通期>



全社戦略費用：その他からIT/NWへ50億円を追加組み替え。通期ではIT/NWに150億円を含む。

*業績予想は2008年1月29日現在

Empowered by Innovation

NEC

参考：主な新商品、広報発表等

2007/10/1-2008/1/28

主要な新製品・新ソリューション

(発売日)

[IT/NWソリューション]

- ▶ NECとEMC戦略的アライアンスに基づくストレージ新製品発表 (1/9)
- ▶ モバイルWiMAX「PasoWings」をグローバルに販売開始 (12/10)
- ▶ 国内初、声の特徴を自動学習する音声認識ソフト「VoiceGraphy」発売 (12/5)
- ▶ ITプラットフォームの省電力を実現する「REAL IT COOL PROJECT」策定 (11/26)
- ▶ 自販機向けマルチサービスリーダーライタ開発 (11/16)
- ▶ 世界最高速のベクトルスーパーコンピュータ「SX-9」発売 (10/25)
- ▶ 世界最小クラスのシンクライアント端末「US110」発売(10/15)



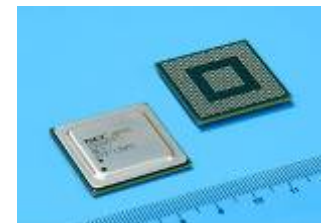
[モバイル/パーソナルソリューション]

- ▶ 携帯電話機 N705i (1/22)
- ▶ 個人向けPC 「LaVie」「VALUESTAR」を一新 (1/8)
- ▶ 「ホームサーバ・クライアント・ソリューション」、新ブランド「Lui(ルイ)」発表 (12/4)
- ▶ 携帯電話機 N905i、N905iμ (11/21)



[エレクトロデバイス]

- ▶ 次世代車載情報系プラットフォーム向けマイコン、OSを開発 (12/11)
- ▶ 32ナノメートル世代のシステムLSIプロセス技術を東芝と共同開発 (11/27 *)
- ▶ 消費電力従来品の半分、フラッシュメモリ内蔵型32ビットマイコン発売 (10/30 *)
- ▶ 新しいASIC「プラットフォームイーシップ」の受注開始 (10/11 *)
- ▶ マルチコア技術による業界最高性能のカーナビ用システムLSI「NaviEngine」発売 (10/2 *)



*:NECエレクトロニクスより発表

主要な広報発表

[受注/納入等]

(発表日)

- ▶ 住友信託銀行ニューヨーク支店に「仮想PC型シンクライアントシステム」を納入 (1/16)
- ▶ ポーランドの3G携帯電話事業者と超小型マイクロ波通信システム「パソリンク」の大規模な包括供給契約を締結 (12/27)
- ▶ 朝日放送から新社屋の放送基幹設備を受注 (12/26)
- ▶ NTTドコモのSuper3G無線基地局装置ベンダーに選定 (12/10)
- ▶ 台湾大同電信からモバイルWiMAXを受注 (12/6)
- ▶ フランス携帯電話事業者ブイグテレコムからHSDPAネットワークの効率的運用に関する技術支援(基地局最適化)包括契約を締結 (11/19)

[提携・開発・事業強化等]

- ▶ 超小型マイクロ波通信システム「パソリンク」が2007年7-9月期に世界シェア一位を達成 (1/17)
- ▶ NGNサービス拡大に向けてITベンダ各社と協業、NGNアプリケーション創出を促進 (12/26)
- ▶ 官公庁向けソリューション事業を強化 (12/14)
- ▶ 東南アジア圏のSAP事業でNTTコミュニケーションズと協業 (11/28)
- ▶ NECとSAPジャパンが製造業向けソリューション領域で協業を強化 (11/20)
- ▶ 映像ソリューション事業を強化 (11/16)
- ▶ 世界初 大規模光ネットワークに対応した自動経路制御技術を開発 (10/23)
- ▶ マイクロソフトとユニファイド・コミュニケーション領域で連携を強化 (10/17)
- ▶ 「NECアジア」設立、アジアにおける事業体制を強化 (10/1)